

『甲商デパート』 起業家をめざす

—実践を通して経済活動を理解し、「経営」について主体的に学ぶ—

山梨県甲府市立甲府商業高等学校教頭 樋口勝彦

事例の位置付け	実施学年	第1学年
	教科等	総合的な学習の時間
	単元名	起業家をめざす。

ねらい

商業教育の完成を目指して、本校の特色の一つである「甲商デパート」を主テーマに

- 1 甲商デパートの実践活動の体験を共有しながら、生徒各人の責任感・積極性・自主性・創造性・社会性・協調性・連帯感を養う。
- 2 多様な学習形態により、情報の収集・調査・まとめ方・報告や発表・討論の仕方などの学び方を身につけさせ、生徒自ら考え、判断できる力と表現する力を養う。
- 3 地域の人々に、甲商デパートにおける生徒の活動状況を紹介し、商業教育及び商業高校の認識と理解を深めてもらうとともに地域社会との連携を図り、開かれた学校を目指す。
- 4 「自己実現」のために、これまで得た知識・技能を総合的に生かし、正しい勤労観・職業観を養い、生きる力を身につけさせる。
- 5 金融や経済活動に関する正しい知識の習得、金銭や物に対する「正しい金銭感覚」・「豊かな生活感覚」を身につけさせる。

展開の特色

- 1 起業家精神を育成する。
- 2 企業としての責任
- 3 自分が理想とする店作り
・取り扱う商品の決定…………… 1時間

構成

甲商デパートへの取り組み（9時間）

- 第1次 ガイダンス ……………1時間
- 第2次 甲府商業の歴史 ……………1時間
- 第3次 甲商デパートに向けて……………4時間
- 第4次 起業家をめざす ……………1時間（本時）
- 第5次 紫紺祭について……………1時間
- 第6次 仕入れ先について……………1時間

事前の準備

・前時に宿題として **ワークシート** No.1 「起業家について考える」（→p.348）の記入を課す。

本時の展開

- 本時の目標**
- 1 『これであなたもひとり立ち』（p.33その2）を利用した資料で考えさせる。
 - 2 自分が取り扱いたい商品を考えさせる。
 - 3 クラスで取り扱いたい商品を決定させる。

学習内容・学習活動	
導入(5分)	①前時の学習内容を簡単に説明し、本時の内容を告知する。
展開①(16分)	②自分が起業するとしたら ③前回宿題として配布したプリントを完成させる。 ワークシート No.1（→p.348）

教師の支援、指導上の留意点	資料、評価と観察の方法
・理想の店づくりについて考えさせる。	・答えさせる。 【知識・理解・社会性】
・『これであなたもひとり立ち』を活用したプリントで考えさせる。 ・具体的商品を考える。 ・取り扱う商品のうち貴金属類・魚・肉等は除く。	・ノートに書かせる。 ・机間巡視 (前回の宿題・課題をして来ているか) 【思考・判断・企画力】

memo・注

memo・注

学習内容・学習活動	
展開②(10分)	4 取り扱いたい商品と経営方針の発表
展開③(15分)	5 商品の決定と経営方針の決定
まとめ(5分)	6 本日のまとめ 7 次の時間の予告

教師の支援, 指導上の留意点	資料, 評価と観察の方法
<ul style="list-style-type: none"> 理由について簡単に述べさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問し答えさせる。 【技能・表現・発言能力】
<ul style="list-style-type: none"> クラスで扱う商品を決定する。 経営方針を決定する。 取り扱う商品が他のクラスと重複した時の調整を生徒間で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が参加しているか。 机間巡視及び発表 【技能・表現・社会性】
<ul style="list-style-type: none"> 利益を上げるにはどのような工夫が必要か考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時が理解できたか。 【知識・理解・自己評価】

評価の観点

学習の評価については、生徒のよい点を探り、記述的・記録的評価とし、数値的な評価はしない。評価方法として自己評価、相互評価、担当教師評価、教育活動に協力した方々による評価など、1年間を通して総合的に評価をする。自己評価には総合的な学習の時間用のノート（本書p.349参照）を使用させる。

1 評価の観点

評価にあたっては、学習の到達度を適切に評価する。

2 学習指導要領の目標に照らしてその到達状況を見る評価（絶対評価）を重視し、観点別学習状況の評価とする。ねらいにもとづいて評価の観点を次の通りとする。

観 点	内 容 例
【興味・関心・意欲】	<ul style="list-style-type: none"> 物事への関心が高く、意欲をもって、積極的に取り組むことができる。 探求的な態度をもち、目標に向かって最後までやり通す意志、意欲がある。
【企画力】	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画を、見通しをもって立てることができる。 調査活動における質問事項を的確に設定できる。
【情報収集能力・分析能力】	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器操作をはじめメディアを利用して、自分で情報を収集できる。 調査活動において質問が的確にできる。 有効な情報を選択し分析できる。 収集した情報から問題解決に向けて自分の考えをまとめることができる。

観 点	内 容 例
【発表能力・コミュニケーション能力】 (文章表現力を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 声の大きさ、強弱、スピードに注意して効果的に話すことができる。 伝えたいことをわかりやすく表現できる。 相手の言わんとすることを理解する力がある。 自分の意見を自分の言葉で表現できる。自分の意見や考えを相手に理解してもらえる力がある。グループ内で意見の調整ができる。
【社会性】	<ul style="list-style-type: none"> 協調性、責任感をもっている。 分担した仕事がきちんと果たせる。 友達と話し合い、考えを深めたり、学び合ったりできる。 周囲の状況判断ができる。 学んだことを他の場面で活用できる。 物事を合理的に考え行動できる。
【生徒の自己評価】	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間、所定の自己評価をする。 学期末には、設定した課題にどのように取り組み、何を学んだか。どのような自分になったか。 学年末評価は、4月当初と比べどのような自分になったか。

3 評価の時期及び方法

- 原則として毎学期末に中間評価として、生徒の自己評価、担当教師の評価を記録しておく。
- 報告会、発表会の際には自己評価、相互評価を取り入れる。
- 学年末には、文章表現で、指導要録へ記載する。

参考資料

- ☆ 生命保険文化センター『ハロー!エコノミックス—現代の経済社会を生きる』, 2003年
- ☆ 金融広報中央委員会『これであなともひとり立ち』, 2003年



総合的な学習の時間の授業計画 (1学期のみ記載)

月日	時数	学習活動のテーマ	学習活動の内容	学習のねらい	学習活動の場所	担当教師 (○は主任)	指導上の留意点 (使用する教材・教育機器)
4/21	1	ガイダンス	①総合的な学習の時間について ②総合的な学習の時間委員について	①本校の総合学習について理解する。 ②総合学習委員の仕事を理解する。	教室	○担任 学年職員 学年主任	①学習ノートの配付 特色, 予定, 進め方, 評価, 学習ノートの使い方等についての指導 ②総合学習委員と会長は相談しながら進めていくことを指導する。
4/28	1	甲府商業の歴史	ビデオ鑑賞 ①1年間の行事 ②インターンシップ ③甲商デパートの話	①伝統ある甲府商業の生徒として出発したことを自覚する。 ②学校生活の概要を知ることにより, 高校生活への期待と心構え, 将来の目標への準備を始める。	商友館	○学年主任 担任 学年職員 インターンシップ係 視聴覚係	①インターンシップのビデオ (15分) ②甲商デパートについての話 (ビデオがあればビデオも) をする。 ③「高校生活は変化に富んでいる。生徒自身が自分のタレント発見のために主体的, 積極的に行事等に関わっていくこと」を強調する。
5/19	1	甲商デパートに向けて <販売価格 (購入価格)の決まり方>	①各種商品の流通経路と販売価格の決まり方 「ものとおかねの流れ」について学ぶ ②おなじ品物であっても販売価格が違うのはなぜかなど ・各班で調査	①生徒自身が具体的に調査することにより, 身近な流通経済に興味をもち, 学習に役立てる。 ②賢い消費者になる能力を身につける。 ③商業科目「流通経済」「簿記」に関連していることを理解する。	教室 図書室 研修室 パソコン室 等	○担任 学年職員 商業科	冊子『ハロー! エコノミクス』の利用 ①普段買っている食品, 衣服, 学用品等の身の回り品の価格を調べさせ, 流通経路との関連に注目させる。 →各班別々の商品がよい。 ②おなじ品物であっても販売価格が違うのはなぜかなど気づかせる。 ③校外で調査活動をする班がでてよい。 ④発表があることを伝える。
6/2	1	甲商デパートに向けて	先週の続き	同上	同上 校外	○担任 学年職員	・次週発表の予告 まとめ方, 発表は工夫させる。 ①発表を聞きながらクラスの販売商品は何がいいか, を考えさせる。
6/9	1	甲商デパートに向けて <クラス発表会> <販売商品の検討> 次回のプリントの配布	①商品の流通経路と価格の決まり方 ・利益についての学習 ②販売商品の検討 理想の店づくり	①各班役割分担して発表を成功させる。 ②発表を聞く態度と自分の意見を進んで発表する態度を身につける。	教室	○担任 学年職員	②販売商品について話し合い (決定は次週) *次週に決める販売商品の種類や条件を提示する。

総合的な学習の時間の授業計画 (1学期のみ記載)

6/23 (本時)	1	甲商デパートに向けて 起業とは <経営方針を立てる>	理想の店づくり ①販売商品の検討 販売商品の決定 ②個人の役割 ③経営方針 (クラス目標) を決める。	成功のために各個人の目標とクラスに合った経営方針 (目標) を立て, 目的を明確化する。	教室	○担任 学年職員	①生徒一人一人が主体的に取り組むために必ず目標を立てさせる。 ②経営方針はグループディスカッションで, 各班からの提案, クラス全体で決定する方法をとる。 『これであなたもひとり立ち』利用
6/30	1	甲商デパートへの取組み <利益について考える>	①繁盛している店, 感じのよい店とあまり繁盛していない店, 感じの悪い店の差は何か。 ②たくさん売れるようにするにはどうしたらよいか。	①甲商デパートは, お祭りではなく, 商業の実践活動である。一人一人が経営者になったつもりで考える。 ②ビジネス基礎, 簿記の授業に関連していることを理解する。	教室	○担任 学年職員 生徒会 商業科	①班で話し合い 班での発表 ②一人一人がどのように取り組むか, 考えるかによって取り扱い商品が売れるか売れないかが決まることを理解させる。 ③考えたことを書き出し, たくさん売れ, 利益を上げるにはどうしたらよいか考えさせる。
7/7	1	紫紺祭・甲商デパートへの取組み <実施計画> <組織作り>	①放送による説明会 紫紺祭・甲商デパートの実施計画について ②組織作り 仕事内容の確認, 役割分担を決める ・紫紺祭の他の部門も含める。	①紫紺祭・甲商デパートに積極的に参加しよう。 ②役割を通してクラスの一員である責任感と協調性を身につける。	教室	○生徒会主任 担任 学年職員 視聴覚係	①生徒会主任は甲商デパート・紫紺祭の実施計画表, 組織作りのための資料を準備し, 事前に配布 ②担任は, 生徒全員が何らかの係りにつくように指導 ③放送による説明をしっかりと聞かせる。
7/14	1	甲商デパートへの取組み <帳簿 伝票他> ①甲商デパートへの取組み 仕入先について ②1学期のまとめ <自己評価>	①仕入れ先の理解 会社名(店名), 住所, 電話番号, 代表者名, 他の取扱商品など ②仕入れから決算までに使用する各種帳票類についての学習 ③夏休み中の調査について ④1学期のまとめ	①甲商デパートで使用する帳簿, 伝票, 書式等をクラス全体で学ぶことによって, 自分の仕事以外の仕事を知り, 協調性や責任感をもつ。 ②帳票の意味と実際を理解し簿記等の教科に関連づける。 ③利益について再度考える。	教室	○担任 学年職員 生徒会主任	①生徒会は使用する帳票類について, 担任・店長・仕入販売係・会計係の責任者に事前に説明しておく。 ②学習ノートの帳票類を参考にする。 利益率は5~10%の範囲で